

流通とS C・私の視点

2011年7月23日

視点(1426)

主要国家のGDPの為替レートと購買力平価による比較!!

世界の各国のGDP（国内総生産額）の算出方式に「為替レート」と「購買力平価」（同じ商品を異なる通貨で購入したとして想定される為替レート）で比較すると次の通りです（IMF＝国際通貨基金より：2010年度・名目）。

	為替レート（名目）			購買力平価（名目）		
	順位	GDP (10億ドル)	1人当たりGDP (1ドル)	順位	GDP (10億ドル)	1人当たりGDP (1ドル)
世界	—	62,909	9,227	—	74,265	10,892
アメリカ	1位	14,658	47,284	1位	14,658	47,284
中国	2位	5,878	4,382	2位	10,086	7,519
日本	3位	5,459	42,820	3位	4,310	33,805
ドイツ	4位	3,316	40,631	5位	2,940	36,033
フランス	5位	2,583	41,019	8位	2,145	34,077
イギリス	6位	2,247	36,120	6位	2,173	34,920
ブラジル	7位	2,090	10,816	7位	2,172	11,239
イタリア	8位	2,055	34,059	9位	1,774	29,392
カナダ	9位	1,574	46,215	10位	1,331	39,057
インド	10位	1,538	1,265	4位	4,060	3,339

以上のように、日本のGDPは為替レートで見ても、購買力平価で見てもアメリカ、中国に次ぐ「3位」であり、為替レートによるGDPでは、2010年に中国に抜かれました。

しかし、2011年度の「経済財政白書」によると、購買力平価によるGDPは、実は2001年に日本は3.2兆ドルに対し、中国は3.3兆ドルであり、10年前に、既に日本と中国のGDPは逆転していたこととなります。

1人当たりGDPで見ると、日本は為替レートでは42,820ドルに対し、購買力平価では33,805ドルで、為替レートに比較して、実質的に79%の購買力しかないこととなります（為替レートが1ドル100円ならば、購買力平価とほぼ同じ数字となります）。

日本と中国の1人当たりGDPを比較すると、為替レートでは日本42,820ドルに対し、中国4,382ドルと、日本が中国を9.8倍上回っていますが、購買力平価で見ると、日本が33,805ドルに対し、中国は7,519ドルと4.5倍に縮小します。我々、小売業に携わる者は、後進国・発展途上国の消費力は購買力平価で見るべきです。さらに、経済財政白書によれば、2015年には購買力平価で、中国は17兆ドル、日本は5兆ドルと3.4倍になると予測しています。また、2015年には中国は購買力平価換算のGDPは、アメリカと並ぶこととなります。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代表 六車 秀之